

用語解説

※1) 自然エネルギー

太陽光、地熱、風力やバイオマスなどから生み出されるエネルギー。CO₂排出などの環境負荷が小さく、普及が期待されている。再生可能エネルギーともいわれる。

※2) 京グリーン電力制度

京グリーン電力運営協議会発行のグリーン電力証書。京都市内の太陽光発電設備「おひさま発電所」で作られた電力の環境付加価値を、証書の形にして、京都市内で事業活動やイベントをする主体に販売する制度。自然エネルギーの地産地消、おひさま発電所などの増設にも貢献する取り組み。

<http://www.miyako-gpc.com/>



発電量は、
雨の日でも
昼間たどりに
ならないよ

天候によってリアルタイムで変化する
発電表示板は子どもたちに大人気



腹話術を使った環境学習。地球温暖化やおひさま発電所についてわかりやすく理解できる内容で、子どもたちに大人気のプログラム

「おひさま基金」や補助金を活用する

地球温暖化はみんなの問題 大切なのは地域の協力

子どもに身に付いた習慣は、大人になっても覚えているので、「おひさま発電所」の設置場所として保育園や幼稚園はぴったりです。その後、雨水タンクなどを設置するサポートや、研修や環境学習を続けていきますが、保育園、幼稚園自体がどんどん変わっていき、園長先生や保育士さんの意識、そして園の営み自体が変わるんです。夏祭りでゴミ箱の設置を止め、リユース食器を導入したり、運動会でエコ競争というのができたり。保育士さんの工夫が満載。非常に心強いです。元気をもらいます。保育園、幼稚園が変わることで子ども、保護者、さらに地域へ省エネの輪が広がっていくんです。どういった暮らし方が持続可能な社会に必要なのか。自分で考えて気がついて変えていく。そういう力を持つ人が増えていくことが社会を変えていく原動力になると思います。

「おひさま基金」や補助金を活用する

「おひさま基金」や補助金を活用する

「おひさま基金」や補助金を活用する

「おひさま基金」や補助金を活用する

「おひさま基金」や補助金を活用する

「おひさま基金」や補助金を活用する

「おひさま基金」や補助金を活用する

地球温暖化はみんなの問題 大切なのは地域の協力

個人も企業も行政も、一緒に進めていくような仕組みになればいいですね。どうしたら地域で自然エネルギーを増やしていけるのか、各々ができることを考えて、少しでも貢献していくという機運を盛り上げたい、そんな働きかけをしていきたいと思っています。

個人も企業も行政も、一緒に進めていくような仕組みになればいいですね。どうしたら地域で自然エネルギーを増やしていけるのか、各々ができることを考えて、少しでも貢献していくという機運を盛り上げたい、そんな働きかけをしていきたいと思っています。

個人も企業も行政も、一緒に進めていくような仕組みになればいいですね。どうしたら地域で自然エネルギーを増やしていけるのか、各々ができることを考えて、少しでも貢献していくという機運を盛り上げたい、そんな働きかけをしていきたいと思っています。

個人も企業も行政も、一緒に進めていくような仕組みになればいいですね。どうしたら地域で自然エネルギーを増やしていけるのか、各々ができることを考えて、少しでも貢献していくという機運を盛り上げたい、そんな働きかけをしていきたいと思っています。

個人も企業も行政も、一緒に進めていくような仕組みになればいいですね。どうしたら地域で自然エネルギーを増やしていけるのか、各々ができることを考えて、少しでも貢献していくという機運を盛り上げたい、そんな働きかけをしていきたいと思っています。

個人も企業も行政も、一緒に進めていくような仕組みになればいいですね。どうしたら地域で自然エネルギーを増やしていけるのか、各々ができることを考えて、少しでも貢献していくという機運を盛り上げたい、そんな働きかけをしていきたいと思っています。

個人も企業も行政も、一緒に進めていくような仕組みになればいいですね。どうしたら地域で自然エネルギーを増やしていけるのか、各々ができることを考えて、少しでも貢献していくという機運を盛り上げたい、そんな働きかけをしていきたいと思っています。



大西啓子
(おにし・けいこ)さん
プロフィール

特定非営利活動法人きょうとグリーンファンドの理事・事務局長を務め、自然エネルギーの普及と省エネ社会を目指す。環境省登録の環境カウンセラー。

きょうとグリーンファンドのシステム



- (1) 市民や団体が少しずつ節電・省エネ分程度の額を寄付。
- (2) 地域の公共的な施設（幼稚園・保育園・共同作業所など）に太陽光発電設備の設置費用として寄付。
- (3) 協議の上で、設置者からは発電分から一定の額を一定期間「おひさま基金」に寄付してもらい、次の発電設備設置や自然エネルギー普及の活動に活用。
- (4) 設置後、地域の環境学習や環境情報発信の場として機能できるように、また設置場所自体が環境に配慮した施設となるようにサポート。

認定 NPO 法人 きょうとグリーンファンド
☎ 075-352-9150
住所：京都市下京区五条通高倉西入る万寿寺町143
いづつビル6階
<http://www.kyoto-gf.org/>